

令和元年度(2019年度) エコチャレンジ制度企画賞 の受賞校が決定しました

今回、エコチャレンジ制度の企画賞に、小中あわせて17校からの応募があり、審査の結果、6校が選ばれました。

ご応募ありがとうございました。

(審査基準、審査方法については「豊中市立小・中学校エコチャレンジ制度審査実施要領」をご参照ください。)



小学校

・庄内小学校 29点/32点

○活動概要○

児童会が中心となり、家庭などでの不要品を集めてフリーマーケットを開いた。

買い物は、仮の紙幣『庄内ドル』を使用した。



【フリーマーケットの様子】

審査委員のコメント



- ・児童会を中心に児童・教職員が連携して取り組みを行った点がよかった。
- ・仮の貨幣『庄内ドル』の発想が面白く、工夫されていた。

・高川小学校 25点/32点

○活動概要○

環境学習の取り組みとして、パッカー車、ダンプなどの見学、電気工事で使用する高所作業車の体験など、実際に見学や体験ができる出前授業を活用した。

審査委員のコメント



- ・出前授業を活かし、その後消灯や水道の締め忘れにつなげている点がよい。
- ・専門の方の意見を直接聞くことや実際に体験することでより理解ができるかと思う。

・野畑小学校 25点/32点

○活動概要○

給食の牛乳瓶のふたに付いているビニールゴミを小さく折りたたんで捨てることで排出ゴミ袋数の削減に取り組んだ。

審査委員のコメント



- ・環境を考えるきっかけとして、毎日の給食に着目した点がよい。
- ・給食委員会の子どもたちを中心とした折りたたみ方の指導や、ごみ量を削減できたクラスの発表を行うなど、学校全体で取り組んでいる。

・箕輪小学校 25点/32点

○活動概要○

家庭で不要となった文具やおもちゃを持ち寄ってリサイクルバザーを開催した。児童銀行券を使って買い物ができるようにした。

審査委員のコメント



- ・児童が中心となり取り組むことができている。
- ・余ったものは、校内で必要に応じてリユース品として使用することで、資源を無駄にしている点が良い。

中学校

・第五中学校 30点/32点

○活動概要○

花壇の手入れや灌水作業、緑の募金活動、12月は学校内や地域をきれいにする「クリーン作戦」など、年間を通じて校内の緑化活動を実施した。



【緑化活動の様子】

審査委員のコメント



- ・環境美化委員と生徒会が協力するなど、全校あげでの活動となっている点が良い。
- ・活動の参加率が高く、また、クリーン作戦は、年々参加者が増加しているとのことで継続して取り組んでいることがうかがえる。

・第十六中学校 26点/32点

○活動概要○

1年生のボランティア学習で天竺川の清掃活動を実施した。また、環境学習では、生徒が日本の将来の発電割合を考え、その根拠も含めて発表を行った。

審査委員のコメント



- ・エネルギーに対してどう向き合うのかを考えるきっかけづくりにつながったと思われる。
- ・複数の発電の組み合わせに着目した点が良い。